

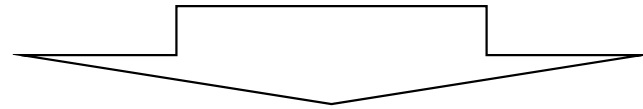
# 飯舘村における実証事業

# 飯舘村長泥地区における取組

## 経緯

平成29年11月20日 飯舘村が環境省に対し、環境再生事業の実施を要望

- 現在国において検討中の除去土壌の再生利用の知見を生かしつつ、村内の除去土壌の再生利用も含め、長泥地区の土地造成・集約化を通じた環境再生を行うこと。
- 環境再生後の長泥地区において、園芸作物や資源作物の栽培等による長期的な土地利用が可能になるよう、有効な支援を行うこと。



平成29年11月22日 飯舘村、同村長泥行政区、環境省で以下の合意事項を確認

- 環境省及び飯舘村は、今後、長泥地区における除去土壌の再生利用を含む環境再生事業を通じて、長泥地区の復興のみならず、飯舘村、福島県の復興に貢献する。
- 環境省、飯舘村及び長泥行政区が連携して、有識者の意見を踏まえ、安全・安心に十分配慮しながら、実証事業に着手する。

## 当面の対応

- 環境省は、安全・安心に配慮して事業を進めるため、飯舘村内の除去土壌の状態、造成した土地の利用方法等を踏まえ、有識者による検討会において、再生利用の方法について検討する。
- 環境省は、除去土壌の資材化及び再生資材を利用することについて、まず実証事業を行い、安全性を確認する。実証事業の具体的な内容等について、飯舘村の要望書を踏まえ、園芸作物や資源作物の栽培等について、今後、飯舘村及び長泥行政区ならびに関係機関と調整を進める。

# 飯舘村における実証事業概要

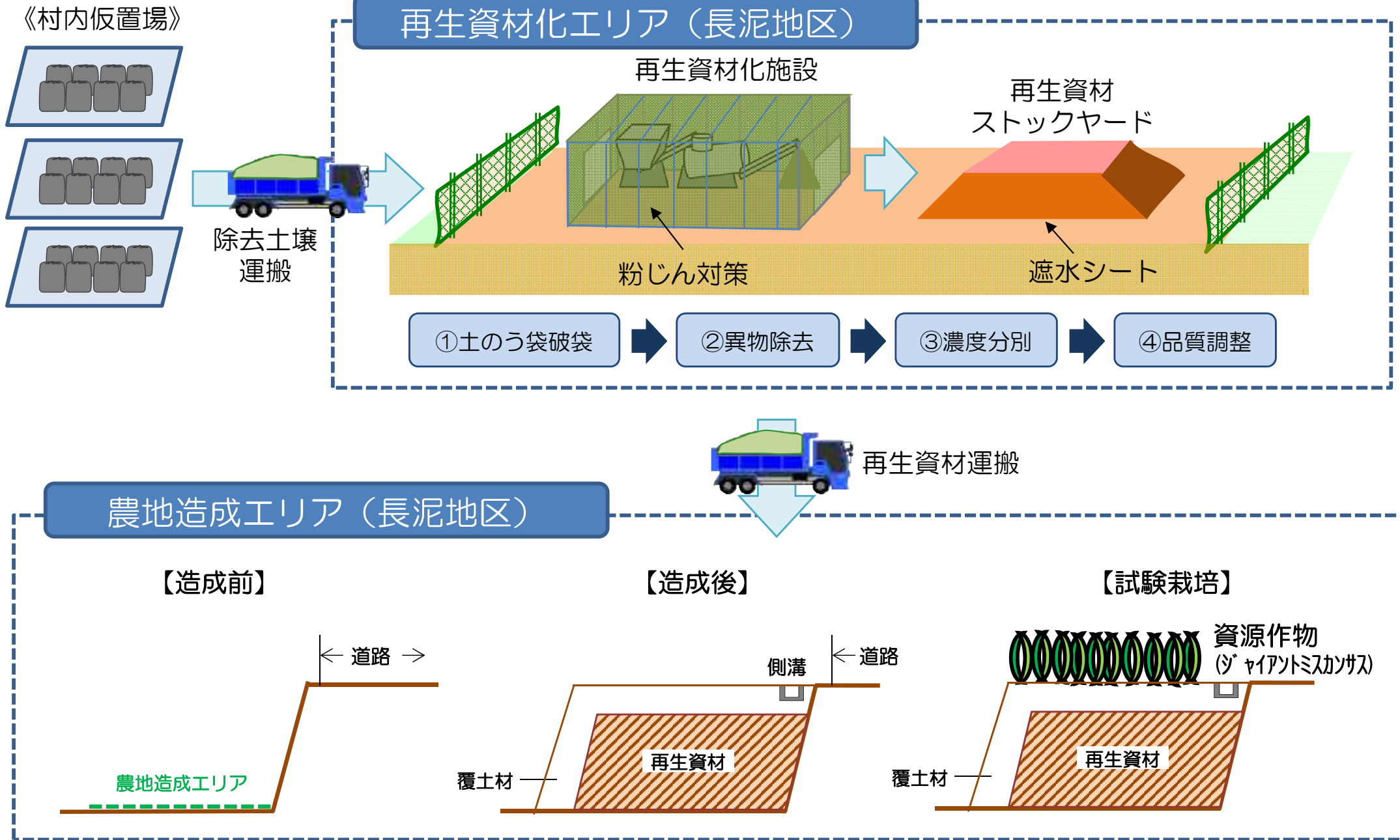
## 【事業概要】

- 飯舘村長泥地区において、村内仮置場に保管されている除去土壌を再生資材化し、農地造成の実証事業を行う。
- 実証事業は長泥地区内の2つのエリアで実施
  - 除去土壌の再生資材化施設及び資材のストックヤードのエリア
  - 農地造成を行うエリア
- 村内仮置場の除去土壌を再生資材化施設において、大型土のう袋の破袋、異物除去、放射能濃度分別等により再生資材化
- 再生資材を農地造成エリアに運搬し、農地の嵩上げ材として利用
- 造成した農地において、園芸作物、資源作物の試験栽培を実施

## 【技術的確認項目】

- 再生資材を農地造成の埋立材・充填材として利用する場合の土木的適用性の確認、放射線安全性の確認
- 園芸作物、資源作物による再生資材からのセシウム移行係数の確認

# 実証事業イメージ



※実証事業中は適宜、放射線モニタリング等を実施

# 実証事業スケジュール(案)

- 平成30年度事業実施
- 現地にて、再生資材化、農地造成、試験栽培の実証試験を実施

項目	平成30年度		
	7月	10月	1月
発注公告 計画・準備			
再生資材化			
造成、栽培実証			
放射線計測等			

# 二本松市における実証事業

# 二本松市における取組

## 経緯

- 平成28年11月 実証事業を積み重ねる観点から、南相馬実証事業を紹介  
二本松市における実証事業の可能性を聴取  
→ 二本松市において検討開始
- 平成29年 2月 地元行政区から「調査について了承」  
→ 二本松市と環境省で事業内容の検討
- 10月 6日 地元行政区説明会において了承
- 12月 5日 二本松市議会議員協議会において事業概要を説明
- 12月27日 周辺行政区に事業概要を回覧(全39班、計341世帯)

平成30年2月6日 二本松市における実証事業の企画競争公示

3月1日 企画提案会

# 二本松市における実証事業概要

## 【事業概要】

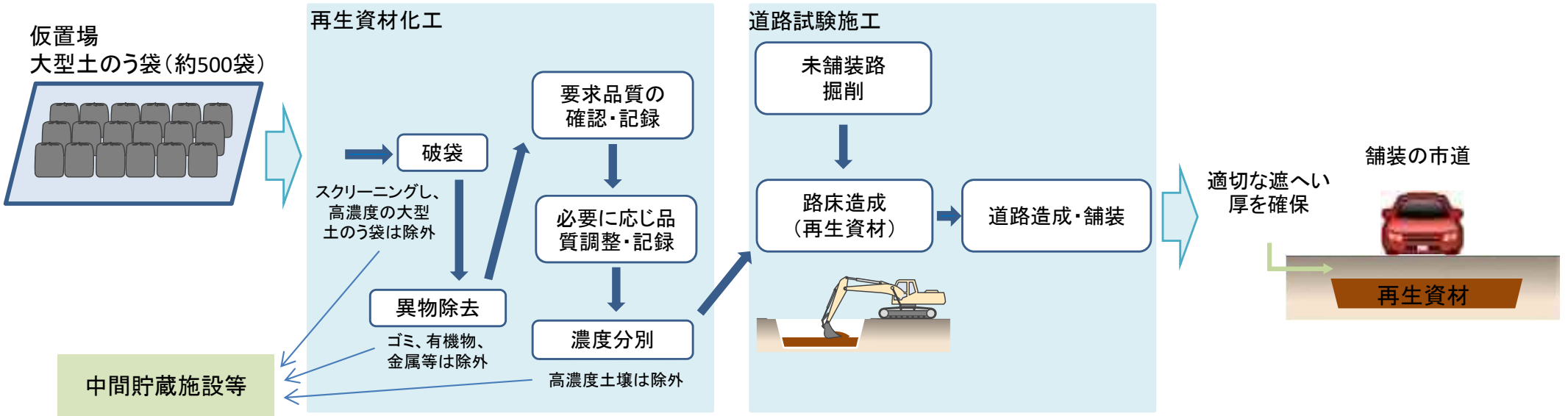
- 仮置場内の大型土のう袋(約500袋)の除去土壌を用い、仮置場内で再生資材化の実証試験を実施
- 再生資材を市道(約200m)において、適切な遮へい厚を確保して、路床材として利用。上部を舗装し、道路として利用
- 実施に当たっては、放射線モニタリング、飛散・流出の防止等の環境対策を実施
- 再生資材化後は、再生資材化設備を撤去。再生資材を利用した道路を一定期間、モニタリング

## 【技術的確認項目】

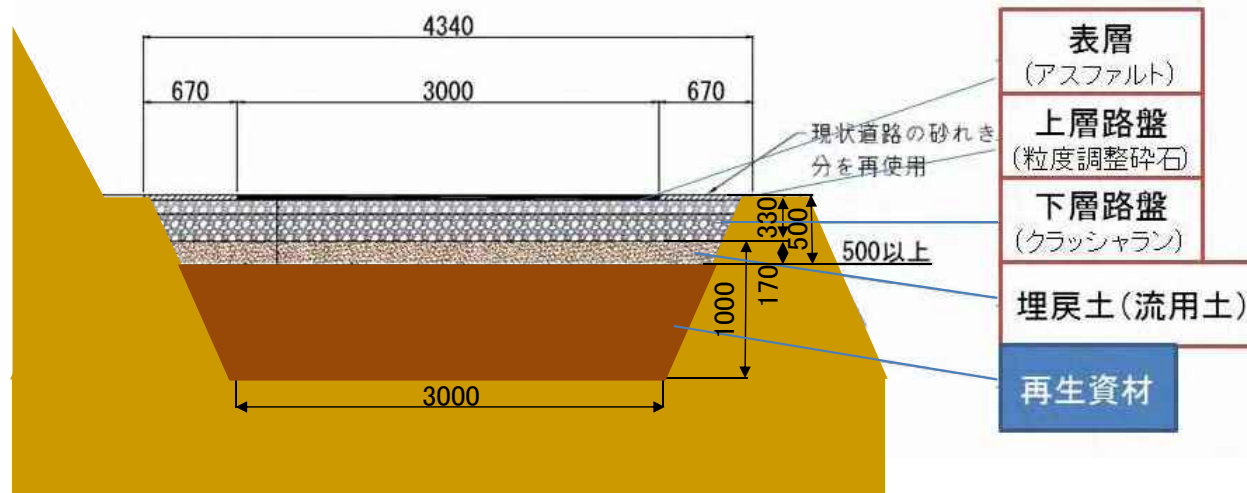
- 再生資材を道路盛土の路床材として利用する場合の土木的適用性の確認、放射線安全性の確認



# 実証事業イメージ



※実証事業中は適宜、放射線モニタリング等を実施



道路断面の模式図

# 実証事業スケジュール（案）

- 平成30年2月6日：公示、2月27日：企画提案募集締切、3月末：契約（予定）
- 対象土壌の調査を実施し、それを踏まえて、再生資材化、道路施工を実施

項目	平成30年度		
	7月	10月	1月
計画・準備	[Blue bar spanning from July to October]		
再生資材化		[Blue bar spanning from October to January]	
道路試験施工			[Blue bar spanning from November to January]
放射線計測等	[Blue bar spanning from July to January]		

※工事説明会を実施後、着手